

保全会たより

特集号

感想文：田んぼの学校に参加して



保全会では、子供たちに生きた体験学習を通して、いろいろな経験を積んでもらい、豊かな感性を育てることを狙いとして『田んぼの学校』を開校しています。平成22年度からスタートし、平成28年度で7年が過ぎました。

これまで多くの皆さんにご協力いただき、ありがとうございます。

『田んぼの学校』に参加していただいた小学生から、今年もステキな感想文をいただきましたので紹介します。(感想文を書いていたときの学年(昨年)で記載しています。)



＝ 平成28年度の授業内容 ＝

- 第1回 (6月12日) 田植え
- 第2回 (8月20日) 水路の生きもの調査
- 第3回 (11月13日) もちつき
- 第4回 (12月25日) 正月飾りづくり
- * 11月に予定していたイネ刈りは中止しました。

□ 前田千明 (1年)

わたしは、田うえがたのしかったです。足がすっごくどろだらけになったけど、たのしかったです。どろの中には、虫がいっぱいいました。

まるい玉にあわせてやるといいよと、おしえてもらいました。そしたらうまくできました。わたしのともだちは、ずっとうまかったです。わたしはまけたくないとおもいました。つぎもがんばりたいです。



□ 岡本歩佳 (1年)



田んぼの学校では、田うえや水の中のいきものやもちつきや正月かざりづくりをしました。わたしはかえるがきらいです。だから、ちょいちょい田んぼにはいるのがきらいでした。田んぼがねちょねちょでした。

もちつきは、もちがおいしかったです。とくにあんこがすきです。

さかなは、いろいろなさかなが下において、とてもとれなかったです。休みの日には、とくにとりに行きたいです。

正月かざりづくりは、とてもわからなかったけど、ちょっとできてよかったです。

□ **大にしひな** (1年)

田うえ、いねかり、楽しかったです。



□ **前田葵** (2年)



田んぼの生きものが、とてもおもしろい生きものばかりで、たのしかったです。

ほかにも田うえやもちつきやしめなわ作りをしたのも、たのしかったです。

とくにうれしかったことは、しめなわ作りで、げんかんにかざってくれて、よくできたねと家ぞくみんながほめてくれたことです。またがんばろうと思いました。

□ **貝本莉緒奈** (3年)

わたしは、とくにもちつきが一番楽しかったです。

理由は、自分たちでうえたもち米を自分たちでついてもちにしたあとに、それを食べるからです。

とってもおいしかったです。



□ **前田きょう介** (3年)



ぼくが、1番楽しかったのは田植えです。わけは、田んぼのどろは、ぬめぬめしてちょっといやだけど、きもちよかったです。あと、どろの中にイネをうえるのがおもしろかったです。

2番目は、正月飾りづくりです。わけは、とてもむずかしくとほとんどできなかつたけど、早くおぼえて、自分でできるようにになりたいです。

□ **岡本絢羽** (3年)

田んぼの学校では、田植えや水ろの生きもの調査やもちつきや正月飾りづくりをしました。

わたしは、もちつきが一番思い出にのこっています。たとえば、もちをついたり、もちをこねたり、いろいろなことをしました。さいごに自分たちで作ったもちをたべておいしかったです。

田んぼの学校ではほかにもやってみて、たのしかったです。四年生になっても、またやってみたいです。もちつきが一番だけど、二番目は田植えです。田植えは土の上できもちがわるいところが大きいです。またやりたいです。



□ 貝本妃菜莉 (4年)

私は、田植えともちつきしかやってないけど、田植えは、ぐにゅとしていて、きもちわるかったです。

もちつきは、ついたもちを食べるとき、のどにつまりました。でもおいしかったです。



□ 井上結斗 (4年)

ぼくは、「田んぼの学校」をして、田んぼはすごい所だと思いました。わけは、一年かかるけど、とてもおいしいごはんやもつがくれるからです。

ぼくはおもちが好きだけど、自分たちでついたおもちのほうが好きなので、来年もおいしいおもちを作りたいです。



□ 前田恵舞 (4年)



私は11月にしたもちつきが1番楽しくて、心に残っています。まず、みんなで順番にもちをついていきました。ついていくと、だんだんもちもちにやわらかくなっていておもしろかったです。

次に、つきたてのおもちをまるめていきました。とても熱くて少し大変でした。でも、みんなで協力して早く終わったし、楽しかったです!!

それから部屋でおもちにきなこをつけて食べました。どちらもすごくおいしかったです。みんなで協力して、がんばって作ったので、もっとおいしく感じられたと思います!!

そして、私は後期の副会長だったので、みんなをまとめることにがんばりました。最初はなかなか声が出せなかったけど、どんどん声が出せるようになりました。今年は役はないけれど、しっかりまとめるようにしたいです!!

□ 松岡日菜子 (4年)

私が「田んぼの学校」に参加して一番楽しかったことは、虫とりあみなどで水中の生き物をとったことです。きもち悪い生き物がいたけど、とっても楽しかったです。

静かにあみを動かして取るのがむずかしかったです。でも、何回かなれてくると、何びきか取れるようになりました。取れるようになってから、すごくもっとも楽しくなりました。

生き物をたくさん取っている人がいて、すごいなあと思いました。私はちょっとしか取れなかったので、がんばりたいです。とても楽しかったです。



□ 浜田梨乃 (5年)

田んぼの学校で、主に田んぼに関わることで、自然や虫に親しむことができました。

もちに関わることは、自分の作った米でもちつきをして、買ったやつより美味しかったような気がしました。

田植えでは、足が沼に引ばられて、少し体力を使ったけど、達成感があり、やりがいのある体験ができました。

正月飾り作りでは、自分の作った米のわらでしめ縄が作れて、家で飾るのが嬉しくて待ちどおしかったです。6年生になっても、全力で取り組みたいです。



□ 岡本愛莉 (6年)



田んぼの学校では、まず田植えをしました。田植えは、5本～8本のなえを植えました。顔や手など、たくさんのところにどろがつきました。でも、田植えをするとお米がたくさんできるので、いいと思いました。

次に、水路の生き物調査がありました。私は、この生き物調査がいちばん心に残っています。たくさんの魚がいました。メダカやカワムツ、ドンコ、ドジョウ、ナマズなどがいました。いちばんびっくりしたのは、魚をとっていると中に「カメ」がいたことです。そのカメをとりたかったけど、にげられてしまいとれませんでした。

もちつきでは、田植えでうえたなえがいねになって、大きくなった米をもちにしてもちつきをしました。とても楽しかったです。

正月飾りづくりでは、つくるのが大変だったけど、協力してやると上手にできたので、うれしかったです。



＝編集後記＝

手探りで始めた「田んぼの学校」ですが、今では門田地区の一大イベントになっているような気がします。子供たちから楽しかったとの感想をいただき、やってよかったとうれしく思います。

これも保護者の皆さんや寿会を初めとする地域の方々の協力があったこと。感謝、感謝です。これからも、ご支援・ご協力をお願いします。

